

脈々 ^{スピリッツ} 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

三たび「一に人物 二に伎倆」

群がる ^{ストリートチルドレン} 浮浪児に鞆の中のクッキーを手渡そうとした旅行者が、「その味を覚えた子どもたちは、明日から何を食べたらいいのか」と、自己満足に過ぎない施しをガイドにたしなめられたという。

生産者は、消費者への盲目的な追従ではなく、責任ある奉仕をしなければならない。事業活動を貫く確たる ^{フィロソフィー} 理念なくして、企業にも学校にも存続はない。

自ら省みて此の徽章に耻ぢぬ様にせよ。否、諸君の人格を以て此の徽章に一段の光輝を添えよ。

(「藪椿」10-4)